

【ぶどう就農特化型】『久米地区 農業地域おこし協力隊』概要

- 農業に興味・関心があり、地域農業の活性化のために農業後継者として活躍する地域おこし協力隊を募集します。
- 隊員が任期後にぶどうの中心的な担い手として活躍することで地域の生産基盤が維持・発展していくことを目指します。



1 久米地区の概要

【地域の概要】

- ・ICを含めた商業エリアに比較的近く、生活に便利な地域です。
- ・津山市内でも特に災害（風害・地震など）が少ないため、農業が始めやすい環境が整っています。
- ・津山地域でも有数のブドウ産地となっています。

【基本データ(令和4年1月1日時点)】

○人口6,248人 ○世帯数2,720世帯 ○高齢化率41%



2 受入団体について

- ・受入団体:晴れの国岡山農業協同組合 久米ぶどう部会
- ・設立:平成18年～ ・拠点:津山市久米地区
- ・部会員数:30名 (この10年間で部会として成長し、30代～40代の新規加入あり)
- ・栽培面積:6.2ha
- ・栽培品種:ピオーネ、シャインマスカット、瀬戸ジャイアンツ、オーロラブラック、安芸クイーン、紫苑、マイハート 等
- ・地域活動:地域内にある道の駅「久米の里」でぶどう祭りを開催
津山圏域での就農希望者向け説明会受入



ぶどう祭りの様子

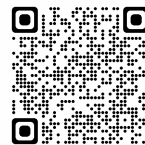


就農希望者説明会の様子

3 受入体制

【サポート体制】

- ・この5年間で新たにぶどうを始めた新規加入者も多く、相談もしやすい環境です。
～初めての土地、初めての業種でも大丈夫!部会のみんなでサポートします～
- ・県外からの移住を経て、ぶどう農家として活躍している先輩あり(QR参照)
～農業に必要な「地域や農家に馴染む意志」をサポートします～



【行政からの支援】

- ・担当職員(津山市農業振興課)が活動支援(研修案内や関係機関の紹介)や定期的な面談を通して生活全般のご相談もお受けします。
～任期中の困りごとから生活面での雑談まで相談をお受けします～

4 協力隊の活動内容

【活動内容例：久米ぶどう部会での農業技術習得&就農に向けた取組】

①農業技術習得・農作業支援

- ☆ 久米ぶどう部会の部会員と一緒に農業に従事しぶどう栽培に必要な知識・技術の習得を行う
- ☆ 他の作目を組合わせて営農している部会員等からぶどう以外の作目に対する知見も深める

②地域との関係構築・地域農業活性化

- ☆ 部会内外を問わず、SNS等を通じた地域農業情報の発信
- ☆ 農業の実践とおとした地域住民との関係構築を行う
- ☆ 地域の空き農地・耕作放棄地の状況把握を通じて地元課題を提起や任期後の活動の種を探す

③就農に向けたその他の準備取組

- ☆ 新規就農希望者に向けた農業経営に関する研修会への参加を通じて経営に関する知識の蓄積に取り組む
- ☆ 関係行政機関と面談を複数回行い、就農に向けた計画策定に取り組む

農作業技術習得の例



房管理の様子



棚づくりの様子

【3年間の活動スケジュール例】（下記①～③の詳細は上記活動内容）

◎活動1年目	①技術習得(90%)	②地域(10%)	
◎活動2年目	①技術習得(80%)	②地域(10%)	③準備(10%)
◎活動3年目	①技術習得(60%)	②地域(10%)	③準備(30%)

5 求める人材(条件)

- ・農作業のできる体力(性別不問)
- ・活動終了後に地区内での就農を希望
- ・基本的なPC操作
- ・20~45歳の方(20代、30代歓迎)
- ・積極的に地域や農家に馴染む意志
- ・普通自動車免許証取得者(AT限定不可)
- ・SNS等で情報発信(未経験可)

久米ぶどう部会では、新規就農アドバイザーとしても活躍されている部会長の元での技術習得が予定されており、任期期間中はもちろんのこと、卒業後のフォローアップ体制が整っています。

皆さんが気になる”住まい”については、少なくとも1~2年目は賃貸物件をオススメしており、卒業後に就農する農地が決まった際には部会・行政で空き家等のご相談をさせていただきます。

同地区内でぶどう農家としての就農するに当たって、行政も様々な支援をいたします。年齢などの条件がありますが、新規就農に対する各種補助金もありますので、まずは気軽にお問い合わせください。



【就農特化型】『新加茂地区 農業地域おこし協力隊』概要

- 新加茂地区内にある農事組合法人さいのたにでは、地域の暮らしを支えあうため、農地の保全管理と地域の課題解決に取り組んでいます。
- 地域おこし協力隊の受け入れを通して、農村地域の最大の産業である農業での後継者を育成することで新加茂地区の風景を未来へつないでいくことを目指します。

活動地域



1 概要

【地域の概要】

新加茂地区は津山市の北部に位置し、倉見、黒木、戸賀、原口、宇野、齋野谷、塔中、小中原の8つの町内会で構成されています。市役所加茂支所、金融機関、学校等があり、加茂地域の中心地である一方、雪が降るため大変きれいな雪景色を見ることができます。また地域内にはキャンプ場があることも魅力の一つです。



【基本データ(令和 4年 1月 1日時点)】

○人口 1,133 人 ○世帯数 540世帯 ○高齢化率 48.4%

2 受入団体について

- ・受入団体:農事組合法人 さいのたに
- ・設立:令和元年～
- ・拠点:津山市加茂町齋野谷30(法人事務所)
- ・構成農家数:13戸
- ・栽培面積:約10ha
- ・栽培品種:水稲、野菜、小麦、しきみ
- ・取組活動:農業インターシップ、トライアルワークなどの農業体験受入(約50名の実績)
移住後の農業サポート支援、移住者交流コミュニティ支援



○農業インターンシップ



○椎茸の植菌



○芋ほり



○苗植え付け

3 受入体制

【サポート体制】

- ・法人役員には農業委員が所属しており、農地の取得から営農まで充実したサポート体制があります。(卒業後に向けた農地幹旋や機械の貸出なども含む)
- ・地域及びその近辺には県外からの移住者が多く、移住者とその支援者で形成されているコミュニティに参加出来ます。

【行政からの支援】

- ・担当職員(津山市農業振興課)が活動支援(研修案内や関係機関の紹介)や定期的な面談を通して生活全般のご相談もお受けします。

4 協力隊の活動内容

【活動内容:さいのたにと連携した地域活動と農業従事】

①農業技術習得・農作業支援(米・麦・野菜・しきみ)

- ◎ さいのたにメンバーと一緒に農業に従事し、技術を学ぶ
- 〔 ☆ 農業の実践をとおした地域住民との関係構築
☆ 地域の空き農地・耕作放棄地等の状況把握 〕

②都市農村交流やSNS等を活用した地域の魅力の情報発信

- ◎ SNS等による田舎暮らしの魅力情報発信
- 〔 ☆ 地域の各種交流事業への協力や企画参加
☆ 協力隊員の目線を生かした地域の魅力の掘り起こし 〕

③その他

- ◎ 隊員の定住に向けた活動
- ◎ さいのたに、地域の活動や会議への参加・協力

【期待する効果】

農業の持続化により、新加茂地区の宝である里山の風景を守り、次の世代につないでいくことを目指しています。上記☆マークは活動内容の例です。他にもアイデアがあれば積極的にご提案してください。

【3年間の活動スケジュール例】

(①→農業技術習得、②→地域交流・魅力発信、③→定住準備)

◎活動1年目 農業と地域を知る期間 : 農作業等を通してネットワークを構築していく



◎活動2年目 チャレンジ期間 : 自立に向けて作目を決めて取り組んでいく



◎活動3年目 自営就農準備期間 : 独立に向けた就農計画の策定と準備



地域での交流事業の例



椎茸の植菌



水路の泥上げ

5 求める人材(条件)

- ・年齢20~45歳
- ・田舎暮らしに興味がある
- ・地元住民と積極的にかかわれる
- ・普通自動車運転免許証(MT免許所有者歓迎)
- ・農作業ができる体力がある
- ・基本的なPC操作ができる
- ・SNS等を活用した情報発信ができる

農事組合法人さいのたにでは、新規就農者の誘致に積極的な役員の元での技術習得が予定されており、任期期間中はもちろんのこと、卒業後のフォローアップ体制が整っています。

また希望によって地区内にある空き家にご興味があれば、受入団体から取次をしていただけるとのことです。

同地区内で就農するに当たって、行政も様々な支援をいたします。年齢などの条件がありますが、新規就農に対する各種補助金もありますので、まずは気軽にお問い合わせください。



『地域の農業を元気にする!半農人材育成サポーター』概要

- 農業に興味・関心があり、地域農業の活性化のために地域の農家を支援する地域おこし協力隊を募集します。
- 副業で行える農作業&地域に眠る副業人材を発掘して繋げることで地域の農業を元気にする取組です。



1 活動地域の概要

【高倉地域(主たる活動地域)の概要】

- 地域は田舎でありながら、津山ICを含めた岡山県北No.1の商業エリアに近く生活に便利な地域です。
- 地域活動が盛んであり、農業に関心も高い地域です。
- 基本データ(令和4年1月1日時点)
 - ・人口 1,659人・世帯数 716世帯・高齢化率 32%

※受入団体に同行して他の地区で活動することもあります。



2 受入団体について

- ・受入団体:一般社団法人 LAアライアンス
- ・設立:令和3年4月～ ・拠点:津山市高倉地区
- ・構成農家数:6名
それぞれが水稻、酪農、果樹などの専門農家として活躍
- ・地域活動:新規就農希望者の受入、食育事業など



受入団体のFacebook



構成農家の内2名が取材を受けた広報誌



家族参加の関係者交流会

3 受け入れ体制

【サポート体制】

- ・受入団体は平均年齢46歳の若手農業者で構成されており、募集する隊員と比較的年齢も近いので話しやすく、農業未経験の方でも専門的で幅広い支援を受けることができます。
- ・構成農家の中には津山市に移住して就農した農家さんもおられます。
- ・任期後の働き方として雇用就農や独立自営就農の相談にも対応いたします。

【行政からの支援】

- ・担当職員(津山市農業振興課)が活動支援(関係機関の紹介)や定期的な面談を通して生活全般のご相談もお受けします。
～任期中の困りごとから生活面での雑談まで相談をお受けします～

4 協力隊の活動内容

【活動内容】

①地域資源マップづくり

- ☆ 地域資源管理作業を実際に経験することで地域農業の実態を把握しながら地域との関係づくりを行う
- ☆ 圃場別に資源管理の条件などをデータ化することで営農サポーター制度の運用基礎データを作成する

②半農サポート人材育成プロジェクト

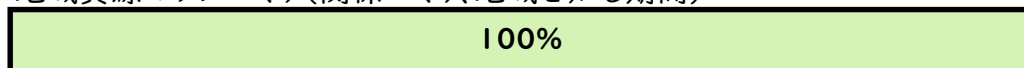
- ☆ 制度周知による副業希望人材の発掘
- ☆ 副業人材育成のためのプログラムづくり
- ☆ 営農サポーター制度の設計、試行及び本格運用

③任期後の準備

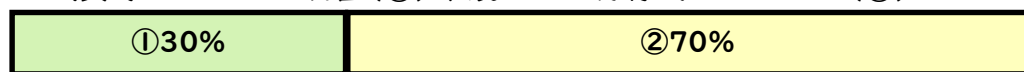
- ☆ 農家と副業人材のマッチングに挑戦する中で、任期後の生き方を見つける
例：雇用就業+支援制度運営や独立自営就農 など

【3年間の活動スケジュール例】

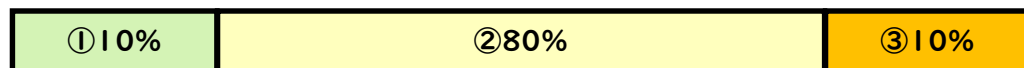
◎活動1年目：地域資源マップづくり(関係づくり、地域を知る期間)



◎活動2年目：地域資源マップづくり改善(①)半農サポ人材育成プロジェクト(②)



◎活動3年目：地域資源マップのブラッシュアップ(①)半農サポ人材育成プロジェクト(②)任期後の準備(③)



5 求める人材(条件)

- ・農作業のできる体力(性別不問)・普通自動車免許証(AT限定不可)
- ・20~45歳(20代、30代歓迎)・積極的に地域や農家に馴染む意志
- ・基本的なPC操作パソコン(ワード、エクセル等)の基本操作
- ・団体活動に対して意欲、理解がある

LAアライアンスは昨年新進気鋭の若手農家6人が集まって結成された一般社団法人です。草刈りや水路掃除などの地域資源管理が少なくなった農家に集中してしまうことなどの地域農業課題を解決するために立ち上がりました。そんな熱い思いをもった受入団体と一緒に課題解決に取り組んでみませんか。

住まいについては、少なくとも1~2年目は近隣の賃貸物件をオススメしており、地域を知ってから空き家への定住を希望された場合には受入団体・行政でご相談をさせていただきます。



【就農型】『阿波地域 農業地域おこし協力隊』概要

- あばグリーン公社では、地域の特性を有効に活用し、地域住民等の連携をはかる際の中心的な役割を果たし、活力のある地域の創造に取り組んでいます。
- 地域おこし協力隊の受け入れを通して、農村地域の最大の産業である農業での後継者を育成することで阿波地域の風景を未来へつないでいくことを目指します。

活動地域

1 地域の概要

【地域の概要】

中国山地の中腹に位置する阿波地域は、四方を1000m級の山に囲まれています。地域内にはかやぶき屋根の民家、道端には水車が残るのどかな風景の広がる地域であり、一級河川・吉井川の源流の地域です。基幹産業は水稻を中心とした農業です。

【基本データ(令和 4年 1月 1日時点)】

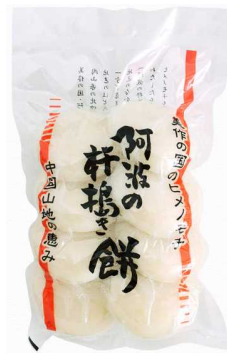
○人口 449 人 ○世帯数 206世帯 ○高齢化率 49%



特産品である氷温熟成米倉庫

2 受入団体について

- ・受入団体: 一般財団法人 あばグリーン公社
- ・設立: 平成11年～
- ・職員数: 5人(内農業担当者2人)
- ・栽培作目: 水稻(コシヒカリ、ヒメノモチ)
- ・加工品生産販売: 杵つき餅、地味噌
- ・取組活動: 農作業受託事業
農産物生産加工販売事業
津山市業務受託作業
- ・拠点: 津山市阿波1216番地1
- ・栽培面積: 約7ha



生産している杵つき餅

3 受入体制

【サポート体制】

- ・住まいについては、地域内にある賃貸物件や空き家など、希望に応じて受入団体を取り次ぎます。
- ・阿波地域の農地について、受入団体が地域の農地情報を集約していることから、卒業後の独立自営就農に向けた農地取得取組を支援します。
- ・卒業後も公社が管理する農業機械について貸借することが出来ます。

【行政からの支援】

- ・担当職員(津山市農業振興課)が活動支援(研修案内や関係機関の紹介)や定期的な面談を通して生活全般のご相談もお受けします。
- ・阿波地域で新たな作目に取組む場合、関係機関と共に地域内外の先進農家をご紹介します。

4 協力隊の活動内容

【活動内容:あばグリーン公社と連携した地域活動と農業従事】

①農業技術習得・農作業支援(水稲・りんどう・自主取組作目)

- ◎ 水稲について受入団体の担当者に師事し、技術を学ぶ
- ◎ 餅生産加工グループに参加して加工技術を学ぶ
- ◎ 餅の販路開拓に取り組み、経営感覚を養う
- ◎ りんどうについて阿波地域内の農業者に師事し、技術を学ぶ
- ☆ 自主作目としてぶどう栽培に取組
※ぶどうは一例です。ご希望作目あればご相談ください
- ◎ 農業の実践をとおした地域住民との関係構築

②農村交流やSNS等を活用した地域の魅力の情報発信

- ◎ SNS等による田舎暮らしの魅力情報発信
- ◎ 地域の各種交流事業への協力や企画参加
- ◎ 協力隊員の目線を生かした地域の魅力の掘り起こし

【3年間の活動スケジュール例】

(①→農業技術習得、②→地域交流・魅力発信、③→定住準備)

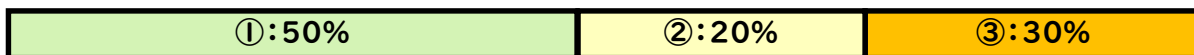
◎活動1年目 農業を知る期間 : 農作業での技術習得に専念する



◎活動2年目 地域を知る期間 : 農作業に加えて積極的に地域に関わっていく



◎活動3年目 自営就農準備期間 : 独立に向けた就農計画の策定と準備



地域の様子



餅加工生産の様子



納涼星空祭りの様子

5 求める人物像※必須要件については募集要項をご確認ください

- 20~40歳の方 ○体力のある人 ○性別不問 ○計画性のある人
- 普通自動車免許、大型特殊自動車免許所有 ○食品加工(餅)に興味のある人
- 赴任前は都会に居住している会社勤めの人 ○地域に積極的に関わっていける人
- 農業に対し一定の初期投資の覚悟がある人 ○積極的に農業技術を学ぶ意欲がある人
- 退任後も津山での定住に強い意志がある人 ○将来経営の多角化に意欲がある人
- 周囲が見渡せ、強い責任感がある人

協力隊の任期終了後は加工生産を含む就農を予定しております。地域の特産である水稲(ヒメノモチ)、りんどうの生産と餅加工生産には任期中必ず取り組んでいただき、卒業後に自営就農できるように技術を学んでいただきます。

その他にも卒業後の生活費が確保出来る作目を検討していただき、技術習得や栽培相談などは関係行政機関が一体となって可能な範囲で支援いたします。一例としてぶどう栽培に取り組むことも可能です。

年齢などの条件がありますが、新規就農に対する各種補助金もありますのでまずは気軽にお問い合わせください。

